

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：星山）（2組：佐藤）（3組：星山）（4組：星山）（5組：佐々木）（6組：佐藤）

使用教科書：（新 高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】現代社会の健康を個人だけではなく社会全体で総合的に理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】健康に関わる事象や課題を発見してより良い解決方法を選択させる。

【学びに向かう力、人間性等】健康や環境づくりに関心を持たせて現在、将来の生活を明るく豊かにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保健の知識及び技能に関する資質・能力の育成について現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにする。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択させることを目標とする。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけではなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって現在および将来の生活を健康で明るく豊かにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 思春期と健康 B 性意識の変化と性行動の選択 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・思春期における体の変化と性機能の成熟、思春期における心の変化と健康課題 ・性意識の変化と異性の尊重、性に関する情報と性行動の選択 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 思春期における健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	4
C 結婚生活と健康 D 妊娠・出産と健康 E 家族計画 【知識及び技能】 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解する。受精、妊娠、出産や人工妊娠中絶等のそれに伴う健康課題について、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・結婚・婚姻状況と健康、夫婦関係、親子関係と健康 ・受精・妊娠・出産、母子の健康のために ・家族計画の意義、避妊法の選択と人工妊娠中絶 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 結婚生活、受精から出産、人工妊娠中絶に伴う健康課題について理解している。 【思考・判断・表現】 結婚生活に伴う健康課題の解決に向けて、保健・医療サービスを適切に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	5
F 加齢と健康 G 高齢社会に対応した取り組み 【知識及び技能】 高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価できる。生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。	・加齢による心身の変化、中高年期を健やかに過ごすために ・高齢者を取り巻く状況、高齢者を支える社会の取り組み ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 加齢による心身の変化、中高年期の健康課題について理解している。 高齢者を取り巻く状況や社会の取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 中高年期における健康課題について、対策を考えたり、保健医療制度について適切に整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1

	<p>H 働くことと健康 I 労働災害の防止 J 働く人の健康づくり</p> <p>【知識及び技能】 労働災害と、作業形態や作業環境の変化に伴う質や量の変化との関係について、理解する。 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 労働災害と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 働くこと（労働）の意義と働き方の変化、働く人における健康問題の現状 日本における労働災害の推移、労働災害を防止するための仕組み 職場における健康の保持・増進活動、日常生活における健康の保持・増進活動 <p>・教材 教科書 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 働く人における健康問題の現状について理解している。 労働災害を防止するための仕組みを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 働く人における健康問題について原因や対処法などを考えまとめることができる。 職場や日常生活における健康の保持・増進について課題を見つけ整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	5
2 学 期	<p>K 大気汚染と健康 L 水質汚濁・土壌汚染と健康 M 健康被害を防ぐための環境対策 N 環境衛生に関わる活動</p> <p>【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解する。 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出の抑制、排出された汚染物質の適切な処理が重要であることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染による健康への影響、地球規模の大気環境問題 水質汚濁による健康への影響、土壌汚染による健康への影響 環境汚染の防止とその対策、産業廃棄物の問題と新たな環境汚染の課題 安全な飲み水の供給と汚水の処理、生活環境を守るごみ処理 <p>・教材 教科書 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 人間の社会活動が、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理することがじゅうようであることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>O 食品の安全性と健康 P 食品の安全性を確保する取り組み 【知識及び技能】 食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解する。 食品衛生法など様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解する。 【思考・判断・表現】 食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性と課題、食品の安全性の確保 食品の安全性を確保する行政、生産・製造者の役割 食品の安全性の確保と私たちの役割 <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書 一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】 健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解している。 食品衛生法など様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	○	○	○	4
	<p>Q 保健制度とその活用 R 医療制度とその活用 S 医薬品の制度とその活用 T 様々な保健活動と対策 【知識及び技能】 健康を保持増進するためには、様々な保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であることを理解する。 医薬品は、正しく使う必要があることを理解する。 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解する。 【思考・判断・表現】 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 【学びに向かう力、人間性等】 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障害を通じて病気から人々の健康を守る保健行政、健康の保持・増進のために活用できる保健サービス 医療制度と医療保険、医療機関の役割と適切な活用 医薬品の種類と承認制度、医薬品の使い方 地球規模の健康課題を解決する取り組み、さまざまな器官・組織の活動 すべての政策や取り組みに「健康」の視点を、多様な人や組織が参加して進める環境づくり <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書 一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】 健康を保持増進するためには、様々な保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であることを理解している。 医薬品は、正しく使う必要があることを理解している。 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解している。 【思考・判断・表現】 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 【学びに向かう力、人間性等】 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組んでいる。健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
						合計	
						35	